

JCM（二国間クレジット制度）の世界展開を進めるとともに、市場メカニズムの実質的なルールづくりを主導する。

1. 事業目的

- ① 世界銀行の取組に拠出することで、JCM（二国間クレジット制度）プロジェクト補助事業のスケールアップ及びJCMの手法の世界展開を狙う。
- ② 世界銀行が進めているプロジェクトを活用させることで、パリ協定第6条に関する世界の市場メカニズムのルールづくりを実質的に主導し、我が国の脱炭素技術が入りやすい環境を整える。

2. 事業内容

世界銀行では、途上国において温暖化対策としての市場メカニズム（新たなクレジットメカニズム、国内排出量取引、炭素税等）の制度設計・導入を支援するため、世界銀行主導で途上国政府の能力構築を実施するための基金（市場メカニズム準備基金（Partnership for Market Readiness））を運用してきたところ。

本年2019年に「準備」段階のフェーズ1が終了し、来年2020年に始まる「実施」段階のフェーズ2のための、市場メカニズム実施基金（Partnership for Market Implementation、以下PMI。）に対して拠出を行う。これにより、世界銀行の市場メカニズムに関するプロジェクト形成に深く関与することで、JCMプロジェクトのスケールアップを実現し、地球温暖化対策計画の目標の早期達成を目指す。

拠出金：世界銀行

3. 事業スキーム

- 事業形態 拠出金
- 拠出先 国際機関（世界銀行）
- 実施期間 令和2年度～令和3年度



4. 事業イメージ

JCMにおける削減の計上方法など技術的に妥当性が高い手法を、世界銀行でのプロジェクトで採用させ、その手法を普及させることで、市場メカニズムにおいて、日本の脱炭素技術が入りやすい実質的なルールを広めていく。